

第2部 人口の概要

7. 世帯

(1) 一般世帯の平均人員は2.37人

平成22年の一般世帯数は301,718世帯、その世帯人員は715,809人で、1世帯当りの人員は2.37人となっている。※熊本県：世帯人員2.57人

平成17年～平成22年の5年間に3町の合併もあり一般世帯は、32,730世帯、12.2%の増加となったが、1世帯当りの人員は、平成17年の2.42人から2.37人となり0.05人減少した。平成12年～17年の1世帯当り人員の増減率は△0.06人であるため、平成17年～22年の減少幅はやや少なくなった。

平成22年の施設等の世帯数は、695世帯、世帯人員は18,665人であり、平成17年に比べ世帯は109世帯、人員は1,291人増加した。【表20】

表20 世帯及び世帯人員の比較

組替

世帯	平成22年	平成17年	平成12年	平成17年～22年		平成12年～17年	
				増減数	増減率	増減数	増減率
一般世帯数	301,718	268,988	259,830	32,730	12.2	9,158	3.5
一般世帯人員	715,809	651,139	645,384	64,670	9.9	5,755	0.9
1世帯あたり人員	2.37	2.42	2.48	△0.05	△2.1	△0.06	△2.4
施設等の世帯数	695	586	518	109	18.6	68	13.1
施設等の人員	18,665	17,374	16,231	1,291	7.4	1,143	7.0

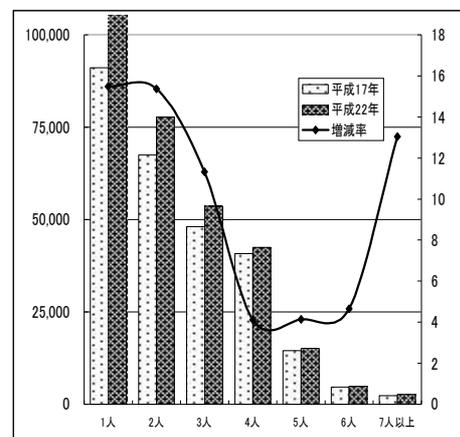
1人世帯が最も多い

一般世帯の世帯人員別分布をみると、1人世帯（一般世帯数の34.9%）が最も多く、次いで2人世帯（同25.8%）、3人世帯（同17.8%）と続いており、2人以下の世帯（183,058世帯）が全体の60.7%と半分以上を占めている。また、平成17年と比べると、1人世帯が14,115世帯（増加率15.5%）増、2人世帯が10,367世帯（同15.4%）増と大きく増加したのに対し、3人以上の世帯ではすべて減少している。【表21】

表21 世帯人員別一般世帯の比較

世帯	一般世帯数		世帯人員別構成比		平成17年～22年	
	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	増減数	増減率
	世帯	世帯	%	%	世帯	%
総数	301,718	268,988	100.0	100.0	32,730	12.2
1人	105,252	91,137	34.9	33.9	14,115	15.5
2人	77,806	67,439	25.8	25.1	10,367	15.4
3人	53,581	48,132	17.8	17.9	5,449	11.3
4人	42,451	40,774	14.1	15.2	1,677	4.1
5人	15,104	14,504	5.0	5.4	600	4.1
6人	4,882	4,665	1.6	1.7	217	4.7
7人以上	2,642	2,337	0.9	0.9	305	13.1

図17 世帯人員別一般世帯の比較及び増減率



(2) 一般世帯の家族類型

核家族世帯は 166,164 世帯

平成 22 年の一般世帯の家族類型別世帯数をみると、世帯主と親族関係にある世帯員のいる「親族世帯」が 193,321 世帯（一般世帯総数の 64.1%）、世帯員が 1 人の「単独世帯」が 105,252 世帯（同 34.9%）で世帯主と親族関係にある世帯員がいない「非親族世帯」は、3,077 世帯（同 1.0%）となっている。

「親族世帯」のうち「核家族世帯」が 166,164 世帯で一般世帯総数の 55.1%を占め、「その他の親族世帯」は 27,157 世帯で 9.0%となっている。【表 2 2】

夫婦と子供の世帯が 27.7%で最も多い

一般世帯の中の核家族世帯について内訳をみてみると、夫婦と子供の世帯が 83,697 世帯（一般世帯総数の 27.7%）で最も多く、ついで夫婦のみの世帯が 53,616 世帯（同 17.8%）、女親と子どもの世帯が 25,449 世帯（同 8.5%）、男親と子どもの世帯が 3,352 世帯（同 1.1%）となっている。これを平成 17 年と比べると、夫婦と子供の世帯割合は減少しているが、夫婦のみ、女親と子ども、非親族世帯、単独世帯の世帯割合は増加している。【表 2 2】

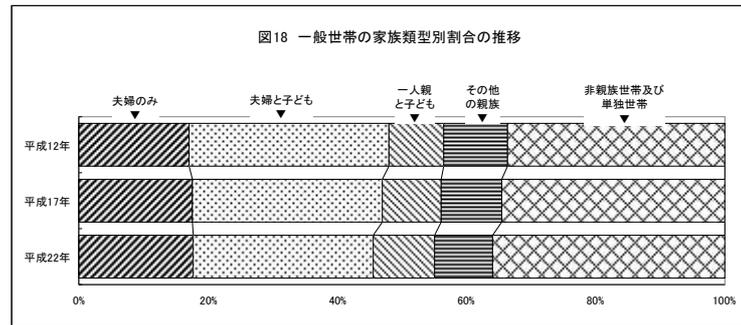


表22 一般世帯の家族類型別世帯数

一般世帯の家族類型	世帯数			構成比		
	平成22年	平成17年	平成12年	平成22年	平成17年	平成12年
	人	人	人	%	%	%
総数	301,718	268,988	259,830	100.0	100.0	100.0
A 親族世帯	193,321	176,201	172,324	64.1	65.5	66.3
1 核家族世帯	166,164	150,978	146,684	55.1	56.1	56.5
(1) 夫婦	53,616	47,178	44,353	17.8	17.5	17.1
(2) 夫婦と子ども	83,697	79,137	80,343	27.7	29.4	30.9
(3) 男親と子ども	3,352	2,844	2,524	1.1	1.1	1.0
(4) 女親と子ども	25,499	21,819	19,464	8.5	8.1	7.5
2 その他の親族世帯	27,157	25,223	25,640	9.0	9.4	9.9
(5) 夫婦と両親	843	716	672	0.3	0.3	0.3
(6) 夫婦とひとり親	3,166	2,804	2,709	1.0	1.0	1.0
(7) 夫婦・子どもと両親	4,052	3,808	4,282	1.3	1.4	1.6
(8) 夫婦・子どもとひとり親	6,940	6,785	7,554	2.3	2.5	2.9
(9) 夫婦と他の親族(親・子どもを含まない)	796	733	690	0.3	0.3	0.3
(10) 夫婦・子どもと他の親族(親を含まない)	2,719	2,283	2,007	0.9	0.8	0.8
(11) 夫婦・親と他の親族(子どもを含まない)	511	402	412	0.2	0.1	0.2
(12) 夫婦・子ども・親と他の親族	1,746	1,555	1,586	0.6	0.6	0.6
(13) 兄弟姉妹	2,402	2,601	2,689	0.8	1.0	1.0
(14) 他に分類されない親族世帯	3,982	3,536	3,039	1.3	1.3	1.2
B 非親族世帯	3,077	1,650	1,243	1.0	0.6	0.5
C 単独世帯	105,252	91,137	86,263	34.9	33.9	33.2

1) 夫の親か、妻の親か特定できない場合を含む

第2部 人口の概要

65歳以上高齢単身世帯数は22.2%の増加

一般世帯の単身世帯数の伸びをみると、平成22年は105,252世帯で、平成17年に比べ14,115世帯、15.5%増となった。特に1人暮らし65歳以上の高齢世帯は26,697世帯で平成17年に比べ4,693世帯、21.3%増と大きく伸びている。

高齢夫婦世帯は、27,756世帯で平成17年に比べると、5,488世帯、24.6%増とこちらも大きく伸びている。【表23】

表23 一般世帯のうち単身世帯及び高齢夫婦世帯比較

世帯	平成22年	平成17年	平成12年	平成17年～平成22年		平成12年～平成17年	
				増減数	増減率	増減数	増減率
単身世帯数	105,252	91,137	86,263	14,115	15.5	4,874	5.7
65歳以上の高齢単身世帯数	26,697	22,004	18,001	4,693	21.3	4,003	22.2
高齢夫婦世帯数	27,756	22,268	19,481	5,488	24.6	2,787	14.3

